

国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）の受賞について

このたび、下水道局において二つの取組が、第8回（平成27年度）国土交通大臣賞〈循環のみち下水道賞〉を受賞することが決定したのでお知らせします。

1 受賞が決定した取組

【グローバル部門】官民連携によるマレーシア大規模下水道整備プロジェクト

【プロジェクトにおける東京下水道の技術】

◆汚水・汚泥処理の集約化と集中処理

(現状)
多数の小規模下水処理場が散在し、維持管理が不十分で、河川の水質汚濁が進行

(将来)
1か所に集約した下水処理場で、効果的・効率的に汚水処理と汚泥処理を実施

◆深槽式反応槽によるコンパクト化

一般の反応槽

深槽式反応槽

反応槽を深槽化し、用地面積を半分に！

◆プロジェクトの実現に至る経過

- 平成22年5月 下水道の実態調査を開始
- 平成23年3月 マレーシア全域の上下水道施設の再整備に関わるマスタープランの提案
- 平成24年2月 機能不全にあったバンタイ処理場の維持管理指導
- 平成24年6月 マスタープランの実効性を検証するランガット地区でのモデルプロジェクトの提案
- 平成24年7月 政府間協議及びワークショップ開催
- 平成25年12月 技術提案書等の提出（実態調査から十数回マレーシア訪問）
- 平成26年3月 マレーシア国政府職員による東京下水道施設の視察研修
- 平成26年10月 プロジェクト実現（契約合意）

ランガット川

- 対象の流域 (約30km²)
- 下水処理場建設予定箇所
- 新設予定の下水道管
- 既存の小規模処理場(約160か所)

▲処理場建設予定地の現場調査

▲マレーシアにおけるワークショップ

▲日本におけるマレーシア国政府職員視察研修

(応募事例の概要・PRポイント)

本プロジェクトは、下水道管から処理場に至る下水道システム全体の設計、建設、維持管理を一括して実施するもので、我が国で初めて、官民連携により海外で獲得した大規模下水道インフラ整備事業です。平成22年より、国や関係機関等からの支援のもと、東京都下水道局、東京都下水道サービス(株)及び住友商事(株)の3者の豊富な技術と経験による提案等を行い、チーム日本で力を合わせ本プロジェクト受注に成功しました。

芝浦水再生センター周辺の全景



品川シーズンテラス



- 延床面積：約20万m²
- 32階（高さ約151m）
- 国内最高水準の環境性能を有する

下水熱や再生水も活用

品川シーズンテラスの地下に整備

雨天時貯留池



- 降雨初期の特に汚れた下水を貯留（約7万6千m³）
- センターの放流先の高浜運河・東京湾の水質改善に寄与

下水熱供給設備



応募事例の概要・PRポイント

芝浦水再生センター上部利用事業は、国内で初めて下水道事業において立体都市計画制度を活用し、都心部に残された数少ない空間である下水道施設の上部を有効活用し、業務商業ビル「品川シーズンテラス」による賑わいと、緑豊かなオープンスペースを創出することで、まちづくりへの貢献を目指した事業です。

品川シーズンテラスには、下水熱、下水再生水等、下水道の資源を有効活用し、民間のノウハウを活用した省エネルギーシステムを導入することで、国内最高水準の環境性能を有しています。また、ビルの地下には、約76,000立方メートルの雨天時貯留池を整備し、放流先である運河への汚濁負荷の低減を図ります。

2 表彰式

- (1) 日 時 平成 27 年 9 月 10 日（木）13:00～14:55（予定）
- (2) 場 所 国土交通省（合同庁舎 3 号館）10 階共用大会議室
- (3) その他 表彰式に引き続き、受賞団体によるプレゼンテーションが行われます。

※詳細につきましては、別紙資料（国土交通省の報道発表資料）又は国土交通省ホームページをご覧ください。

お問い合わせ

下水道局 総務部 広報サービス課 堀井、神保
直通電話 03-5320-6529 都庁内線 51-050